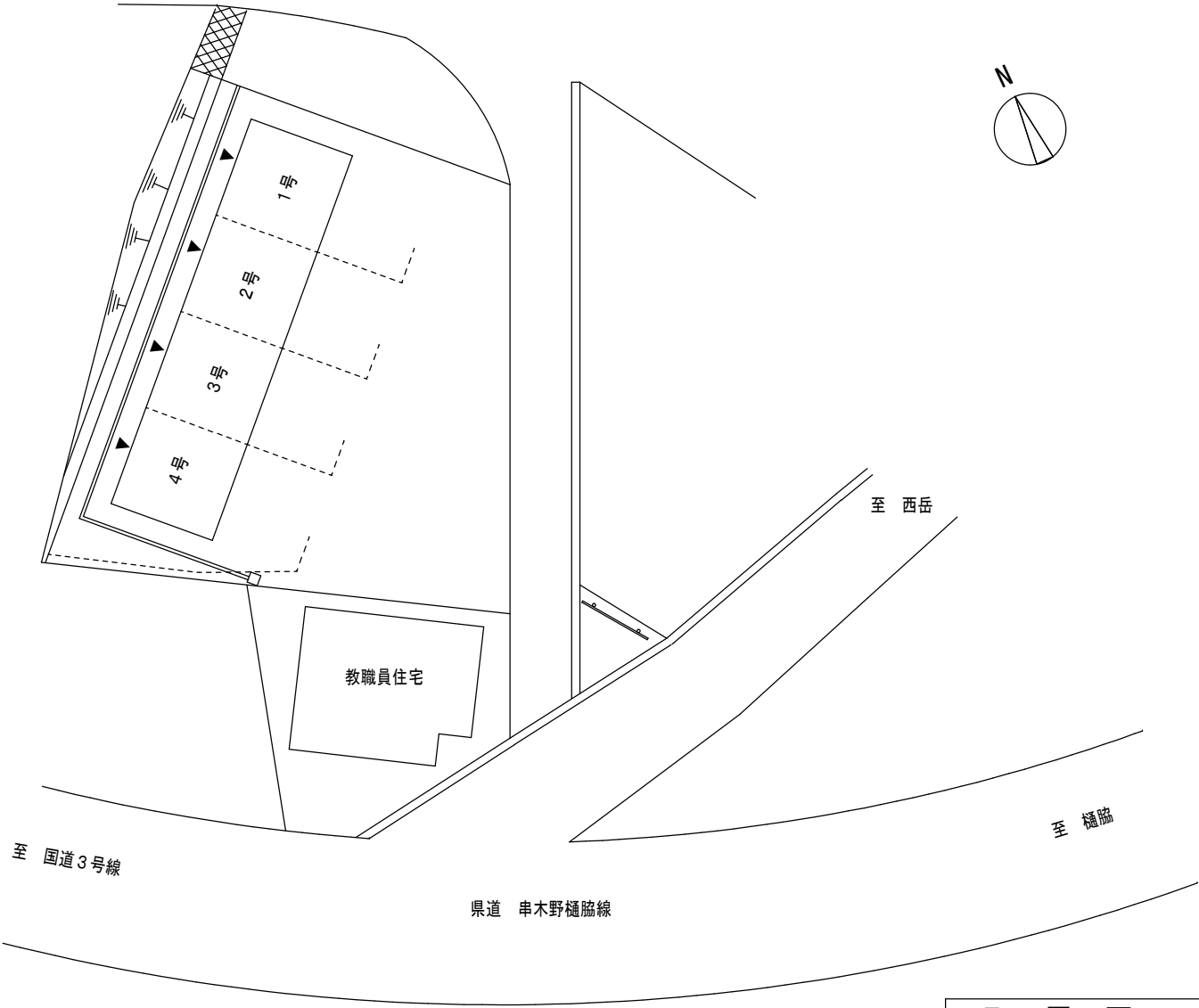
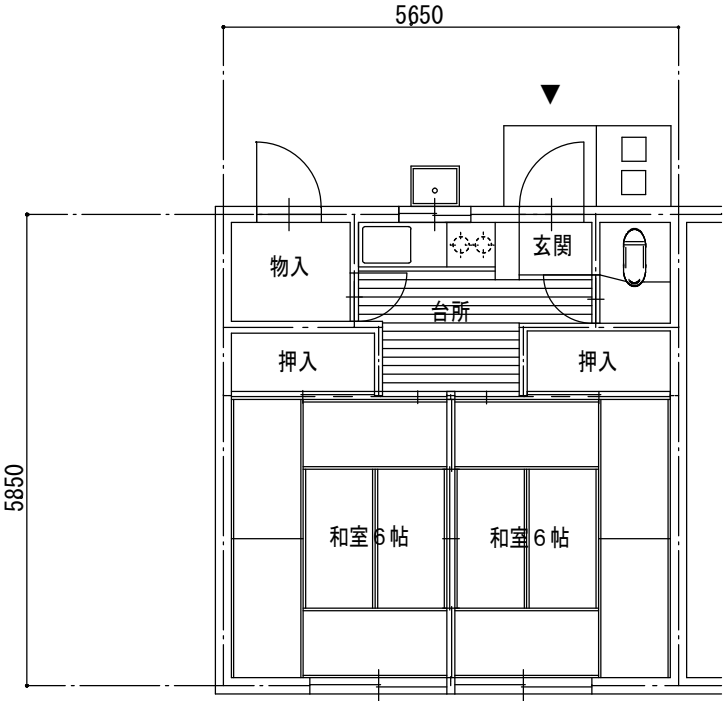


名 称	大六野住宅	位 置	生福8209番地2	敷地面積	925.36㎡	棟数	1	戸数	4	番号	
-----	-------	-----	-----------	------	---------	----	---	----	---	----	--



配置図 S=1:400

名 称	大六野住宅		室 名	1, 2, 3, 4号		構 造	簡易耐火平家建		建設年度	昭和40年度		階 印	
棟 数	1		戸 数	4		型 式	2K (汲)		住戸面積	33.00㎡			
ガス供給業者		指定無し		その他設備		給湯器、TVアンテナは入居者設置 浴室（物入）スペースのみ							



平面図 S=1:100

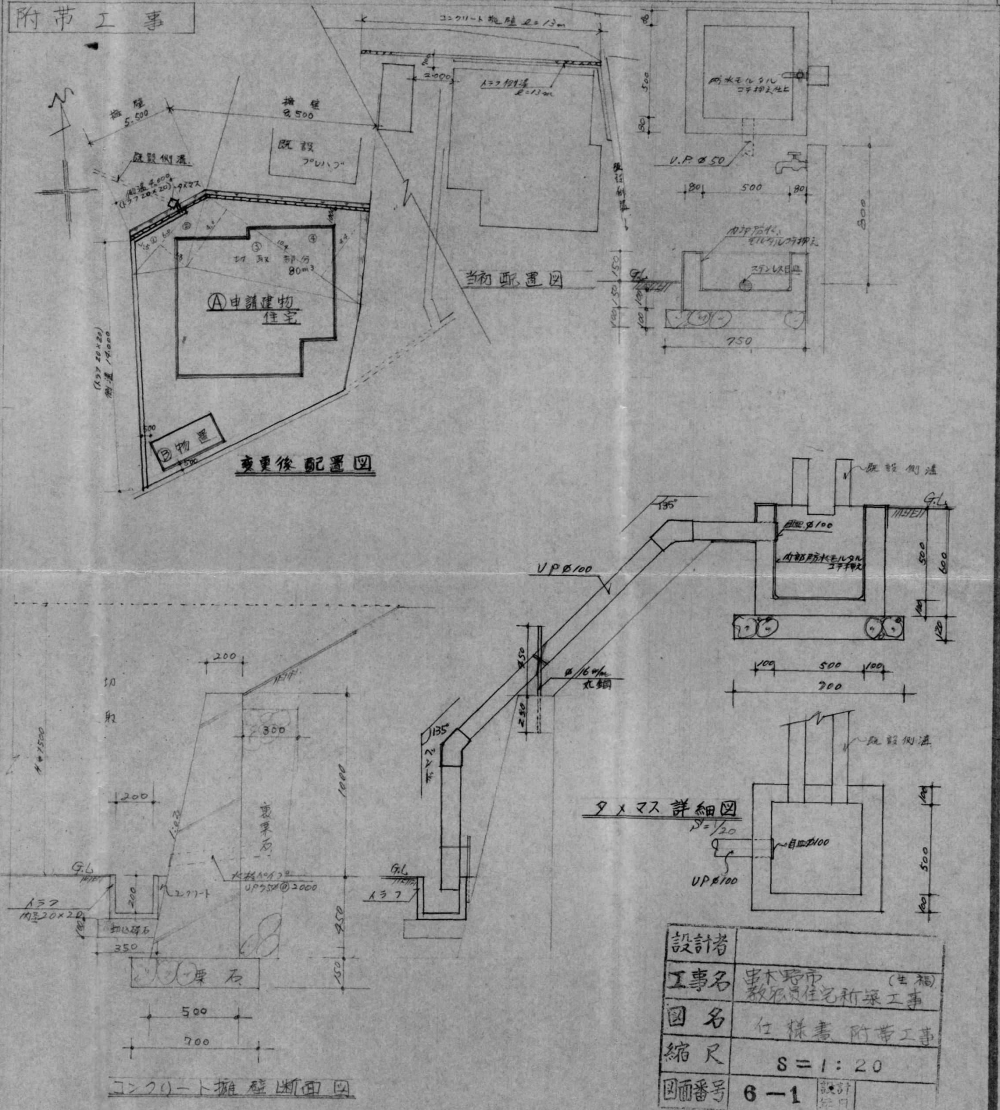
串木野市教職員住宅 新築工事仕様書

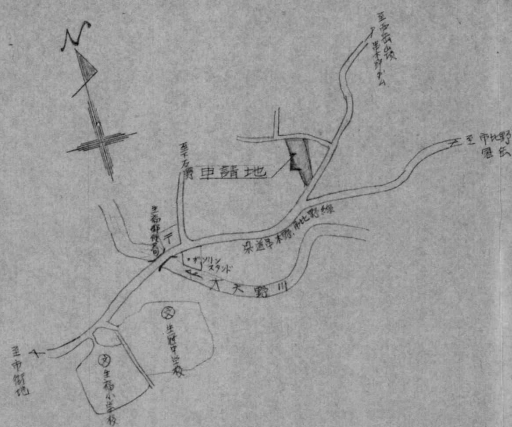
位置	串木野市上名 8209番地	基礎	部東石(自然砂利)換固土据コンクリート打。布コンクリート埋
面積	住宅 = 65.42 ^M 物置 = 6.48 ^M	内壁	ポリント合板。和サバ。大サバ。タイル貼。
軒高	G.Lより 3.400	床	タタ。フローリング貼。タイル貼。
G.L	現地に指示。	外壁	タスモタル刷毛引リシン吹付仕上。
		屋根	和国小屋組。スリス(シルバー仕上) 母面 4%

工種	仕 様
仮設工事	図示より係員立合の上重物の位置を決定し障害物は除去し水並液形堅固に設け、係員の検査を受けると。
基礎工事	図示より根拠より係員の検査を受け重石を敷き目渡砂利を充分入れ水并のミナシランマー突固めすること。
コンクリート工事	コンクリート打設前に仮枠通りを直し打込前に散水コンクリート調合は1:3:6を基準とし充分な打込みを要する。打込みは内面荒削りとし、金物等は所定の位置に埋込すること。
金物工事	アンカーボルト、羽子板ボルト等はすべてコンクリート埋込のものを使用する。ホード類等特殊板等は真鍮釘又はカラーネジ釘を使用すること。
木工工事	充分乾燥した木材を使用し切込前に係員の材料検査を受けると。着工すべし。 木材はすべて杉材を使用し、柱の一部は割目を使用する。梁やはり材は乾期仕上とし、図示す決仕上とする。(但しスギ材は除外)
一般工法	着工に先立ち地盤調査図を作り係員の検査を受けると。
建方	建方は正確に垂直とし、後、筋カキをし、鉄ボルト、柱打(柱仕上)とし図示の諸金物は正確に取り付け、構造用金物はコンクリート埋込とする。
継手仕口	継手位置はすべて地盤とし仕口その他詳細は係員の指示による。土台、柱、母屋、大引等土要な箇所は追掛継とする。
建具工事	乾燥した小部材では無節材にて作成すること。材種は杉材使用すること。 アルミサッシは YKK(ケーシー)アルミサッシも使用する。
屋根工事	和国小屋組。野地板厚15%。ルーフィング 25kg。スリス(シルバー仕上)。
左官工事	基礎の外部はモルタルマッシュ仕上。外壁は、モルタル刷毛引仕上(90分)。エマコンクリート、大サバコンクリートはモルタルコテ仕上とする。
塗装工事	軒耐火ホート、土間底裏のP22塗。台所、エン、ロカ、床板等はラップ2回塗りとする。外壁はモルタル刷毛引の上、リシン吹付仕上とする。
鋳工事	軒柱至105。壁柱至75(壁柱22使用材)。壁柱、軒柱の受金物は9%鉄製。断面は750以内に取り付けは、出窓、窓板、タタ水切等はカラー鉄板ニササとする。
防蟻工事	地上1mまでの木部、床下の土台、大引、及び小屋組の仕口は防蟻剤塗す(5年保蟻剤提出あり)
排水工事	洗面器、手洗器、大便器、小便器類は東陶製品も使用する。台所流し台はニカス120RL、ガスC1960等または、ステンレス製(600x700x800)を使用する。
水道工事	図示の箇所とする(串木野市水道用規程に準じ)台所自來、浴室、脱衣、洗面、手洗、外部。
電気工事	図示の箇所とする(電力電力規程に準じ)合格証を提出する。
排水工事	床下の既設側溝へ排水する。図示のとおり側溝、VP排水管を設け放流する。
ガス工事	浴室、台所、台所のガス台に配管し、外部にガスメーターボックスを設置する。
留意事項	本工事の施工に際しては特に下記の事項に注意すること。 ①防蟻剤は、仕口等には必ず塗布する。建方前に塗布すること。 ②柱仕上の仕口、金物の使用、付、母屋、桁等の仕口は、 ③鉄ボルトのナットの締め付け、根太の釘打(2本打)、鉛木は両面打(2本)。 ④基礎アンカーボルトの埋込位置、点検。 ⑤タタボルトの釘打。
その他	1. 本工事中国図面が、概略図といふことも工事上は、概略図は係員と打ち合わせの上、調査員にて施行すること。 2. 本工事中に万一、災害発生した場合は、調査員にて処理し、工事を見直しすること。 3. 工事中は、各作業等は、安全、清潔、火災に充分注意すること。 4. その他工事(内)には、すべて二年保証員が指示すること。 5. 工事完了後は、建物の外装清掃し、検査を受けると。

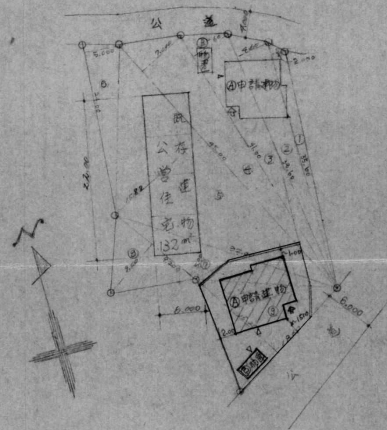
位置工事 住宅の西側に 6.48^M 木造スレート葺きで建設。工事仕様は別図のとおり。

室名	床	壁	天井	仕 上	備 考
客 室	モザイクタイル貼	タイル貼。プリント合板	プリント合板	タイル貼	
ロ ー ン	タイル貼。プリント合板	プリント合板	プリント合板	タイル貼	
和 室	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	
玄 関	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	
押 入	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	
脱 衣 所	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	
台 所	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	
浴室	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	
洗面	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	
トイレ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	
物 置	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	タタ。タタミ	





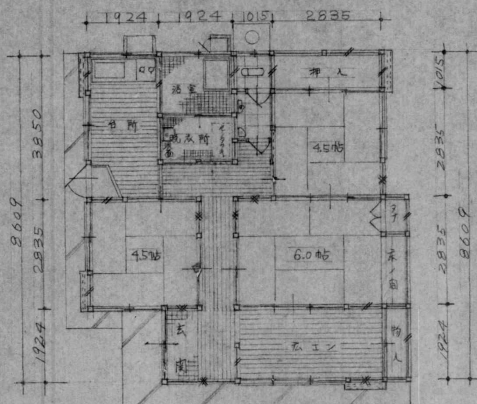
① 附近見取図



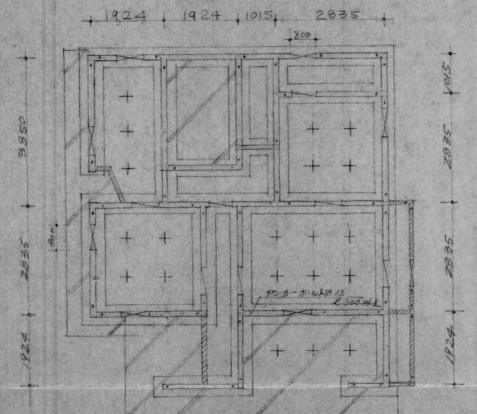
② 配置図 S=1:500

面積計算表	
敷地面積	65,425.45 ²
建築面積	8,685 × 7.698 = 51,761
	1,924 × 5.777 = 11,109
	4,759 × 1.600 = 2,855
延床面積	6,480
建築面積	3,600 × 1.200 = 4,320
延床面積	22,000 × 6.000 = 132,000

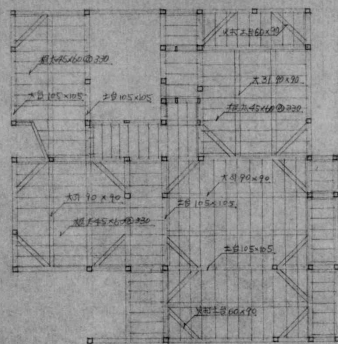
敷地面積計算表	
①	2,500 × 2,500 × 1/2 = 3,125
②	2,500 × 2,500 × 1/2 = 3,125
③	4,000 × 2,500 × 1/2 = 5,000
④	4,000 × 2,500 × 1/2 = 5,000
⑤	4,000 × 2,500 × 1/2 = 5,000
⑥	4,000 × 2,500 × 1/2 = 5,000
⑦	4,000 × 2,500 × 1/2 = 5,000
⑧	4,000 × 2,500 × 1/2 = 5,000
⑨	4,000 × 2,500 × 1/2 = 5,000
⑩	4,000 × 2,500 × 1/2 = 5,000
計	48,250



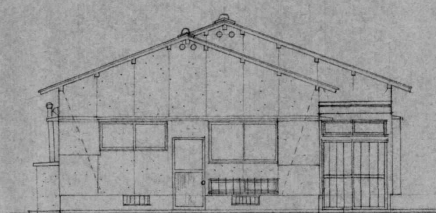
④ 平面図



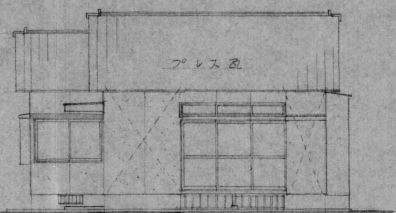
基礎伏図



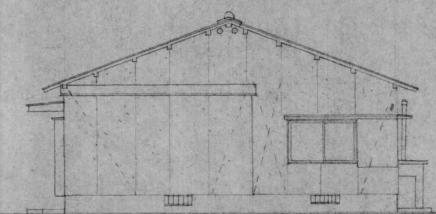
床伏図



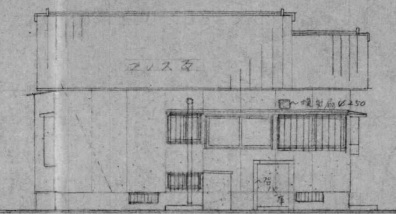
南立面図



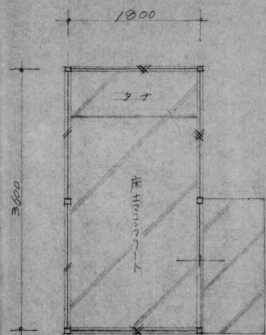
東立面図



北立面図



西立面図

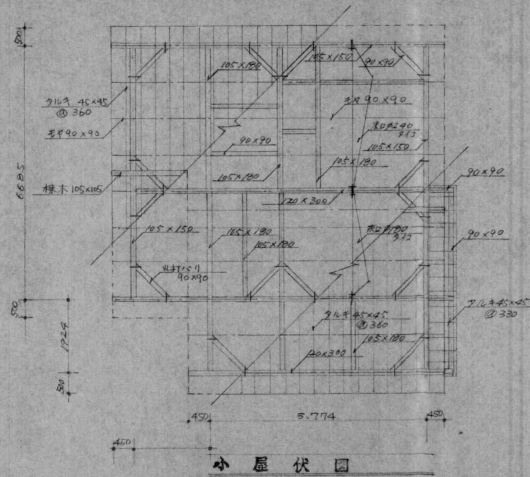


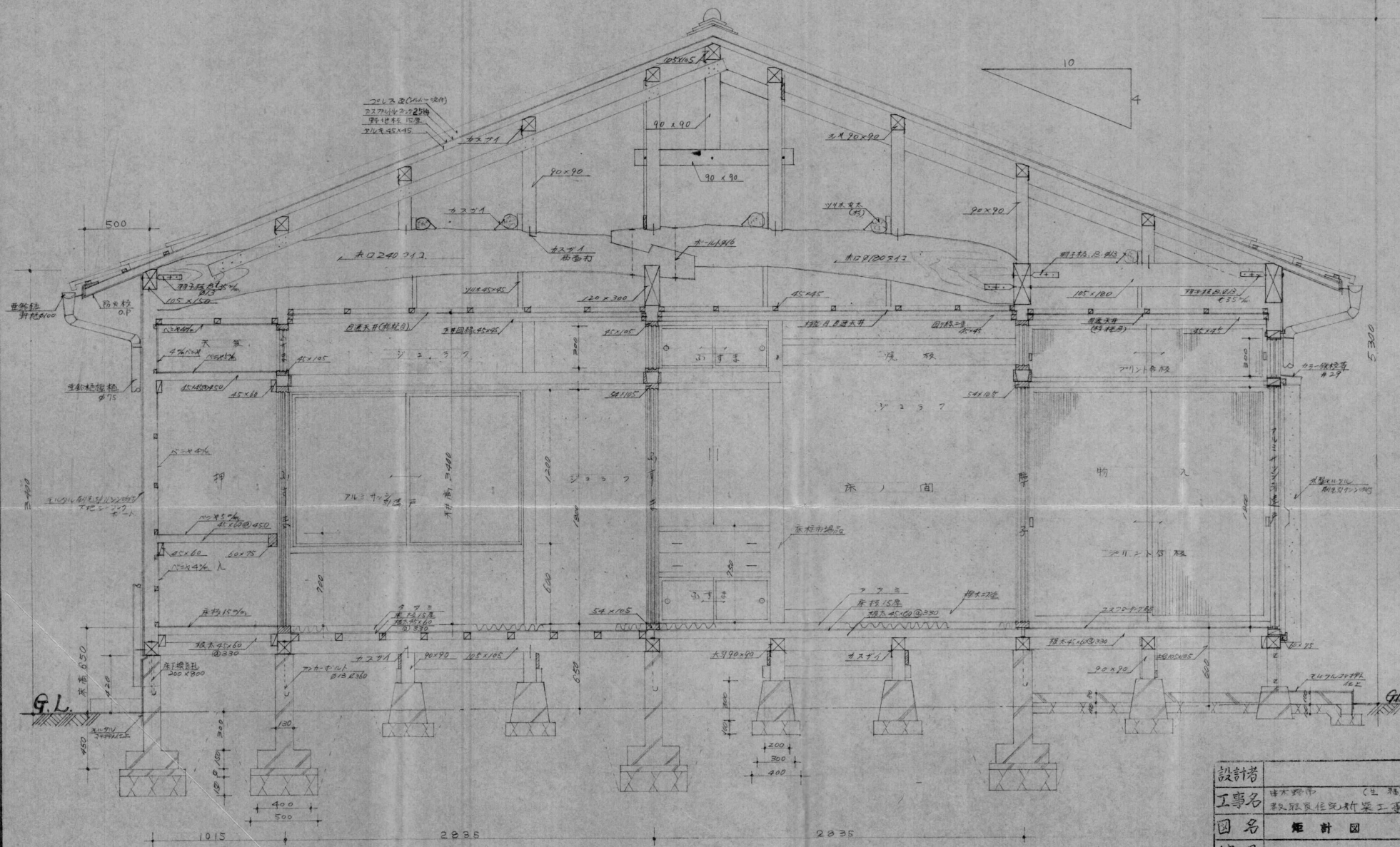
⑤ 物置平面図 S=1:500

① 住宅構造概要	
基礎	コンクリート布基礎
外壁	モルタルサイディング付
屋根	アスファルト(吹付)

② 物置構造概要	
基礎	コンクリートブロック基礎
外壁	メタルライティング貼
屋根	大波スレート(切妻)

設計者	市道市 (住)
工事名	駅前市道市 (住)
図名	見取図・平面図・立面図
縮尺	S=1:100





矩計図 6=1:20

設計者	由木野市 (主 務)
工事名	数段瓦葺住宅新築工事
図名	矩計図
縮尺	8=1:20
図番	6-4
設計	年月



